

NO.1 熊野古道、長尾坂～潮見峠～覗き橋へ

2017.1.22 田辺市歴民講座 吹揚克之

はじめに

- 1 高尾(鷹、雄)山 高さ 606m
  - ・ 3 経塚 伝説和気清麻呂
- 2 横山高さ 796m
  - ・ 潮見峠 茶屋 2 軒 皆地屋殺し
- 3 熊野古道、他に脇道もある。
  - ・ 上秋津 西原 東原 佐領 水呑へ ・ 古屋谷 秋津川 伏ど野 熊野川 水上
- 4 大倉 清滝 清滝小学校
  - ・ 清滝、高雄山
- 5 不動寺 正平年間開基
  - ・ 曹洞宗(旧新義真言宗) 天正の誓 与一の墓
- 6 光福寺
  - ・ 曹洞宗 元長福寺 きしのの墓
- 7 明治 22 年(1889)の山崩れ
  - ・ 暮れの尾 ダムができる 氏神救出決死隊
- 8 長尾共同墓地 鎮守菩薩
  - ・ 虎空蔵菩薩は光福寺へ 石工の話
- 9 長野中学校校歌
  - ・ 作詞 長田 新、(広島大 『原爆の子』) 作曲信時 潔(『海ゆかば』)
- 10 雨乞い
  - ・ 高尾山頂にて大火 宮後川の滝壺へ投げ餅 獅子舞
- 11 旧 長尾坂
  - ・ 徳本上人碑? 青面金剛像 地名「柿之窪」 石畳 盛り土 聖塚 一里塚 茶跡
  - ・ 別当堂 閤所跡 堀切 昼寝権現(祠は場所移動) 茶屋跡 水井家の木杯 湧水

古 長尾坂

  - ・ 金毘羅宮 天狗の寝床 笛吹きえこ 馬の井戸
- 12 お滝さん
  - ・ 水涸れの滝 雨季に流れる
- 13 捻木 大杉
  - ・ 樹齢 清姫伝説 古戦場跡 皆地屋殺し
- 12 潮見峠口
  - ・ 中継地 上野地区からの道
- 13 中の峠の地藏尊
  - ・ 道機和尚 文政 6 年歿 射森峠 福巖寺へ 一願地藏
- 14 潮見峠 古戦場碑
- 15 峠から覗き橋まで 木砲砲台跡 鍛冶屋川 天正の兵乱碑 一里塚

むすびに

No.2 熊野古道 長尾坂、潮見峠越え 史料 2017 年 1 月 22 日 田辺市歴民講座 吹揚克之

[熊野参詣道近世寄稿文]他

1 『熊野めぐり』元文 4 年(1739) 作者不詳 (『田辺市 世界遺産熊野参詣道』2007 年 田辺市刊行)

「・・・潮見嶺 芝村より一里ありといふ。茶店二軒在。一軒ハ若山嶺、一軒ハ田辺嶺なり。此嶺より田辺・湯崎の辺、又芝村の川下、富田川など云所見ゆる。富田村、又田辺の向うに天神崎杯いふ所、南海目下に見へて甚景よし。又二十丁はかりも下りて坤の方を請うたる茶店あり。景色よし。是又潮見峠の内なり、むかしよりと云。これより段々下るに水か峠とて一軒家あり。此前大松一株有。是より下長尾村といふ。段々下り道悪し。民屋所々にあり。道の右の傍、田の岸に大松一株あり。甚見事也ゆえあらん所のものに尋ぬ。くわしき事しらず。ただ一本松といひて、むかしより今に枝をものはらすして置きなりといふて、おかしき事もなし。又右の下に社見ゆる。長尾村の鎮守なりといふ。段々下り道あしくして上三栖村に至る。・・・」

2 『三熊野参詣道中記』延享 4 年(1747) 作者不詳 (「1」に同じ)

「・・・是よりたなべ嶺、此所此辺ニ而之田地多所也、塩見峠坂長シ、けはしからず、しはニ船渡シ有、材木多く下ス、此辺大坂酒有之、田辺より廻ル由、・・・(道成寺・・・縁起開候)」

3 『湯の峯温泉の日記』天保 11 年(1840) 長澤伴雄 (「1」に同じ)

「・・・ここを塩見峠といへり。上り三十丁あり。山路の左の方に桜の並木あり。もと立四本五本なるもあり。みな大なる木とものかく永う立ちつゝきたるあはれ、花の頃ならましかはとしのはるゝや。八上の山はこの半腹より南にあたりと俚俗いへり。あらくおろすな三栖の山風と西行がよめる。則こゝなり。かくて塩見の峠より打わたすに、まつ目につくは湯崎、神楽嶋の入海、さては田辺の城、あるは富田川また阿波の遠山も霞て見ゆ。・・・」

4 『国阿上人絵伝』正和元年(1375) (『田辺市史四 史料』)

「切目といふ所ハ、後は山、前ハ海にて、風景たぐいなき所也。八十二代後鳥羽院二十四度熊野へ詣で給ひしかは、此地に行宮造らせ給ひておはせしとなり。見那邊峠という難所を過て、田那邊と云ふ所まで二里計平地の道也。塩見峠、鹿が峠、金が坂といふハ第一の験難也。・・・」

5 『熊野詣日記』応永 34 年(1427)僧実意 (「4」に同じ)

「足利義満の側室北野殿と息女の南御所と・今御所が熊野三山に参詣する」

熊野参詣道近世紀行文一覧

6 『室町幕府御教書写』応永 16 年(1409)(「4」に同じ)

「熊野衆徒等申紀伊国小松原、山東、近露、塩見坂四ヶ所事、或構山中警固、或号寺社勧進、煩熊野詣輩、押取粮物云々・・・」

7 『長野八幡神社祝詞』応永 7 年(1400)(「4」に同じ)

「・・・那須定守 (花押)」

註 『紀南熊野の諸相』の「潮見越え」(P25)参照

| No. | 書名         | 作者    | 年代          |
|-----|------------|-------|-------------|
| ①   | 其浜ゆふ       | 服部嵐雪  | 宝永2 (1705)  |
| ②   | 熊野めぐり      |       | 元文4 (1739)  |
| ③   | 三熊野参詣道中日記  |       | 延享4 (1747)  |
| ④   | 熊野詣紀行      |       | 宝暦5 (1755)  |
| ⑤   | 熊野遊記       | 北畠恪齋  | 安永2 (1773)  |
| ⑥   | 浜ゆふの記      | 華鏡井燕志 | 天明8 (1788)  |
| ⑦   | 西遊記神都詣西国巡礼 | 鈴木牧之  | 寛政8 (1796)  |
| ⑧   | 熊野詣紀行      | 林 信章  | 寛政10 (1798) |
| ⑨   | 熊野紀行       | 川井立齋  | 寛政10 (1798) |
| ⑩   | 三山記略       | 菊池元習  | 享和2 (1802)  |
| ⑪   | 熊野中辺路採薬巡覧記 | 小原桃洞  | 文化11 (1814) |
| ⑫   | 湯峯温泉の日記    | 長澤伴雄  | 天保11 (1840) |
| ⑬   | 熊野日記       | 熊代繁里  | 安政6 (1859)  |